

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375601016
事業所名	グループホームあま恵寿荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域の洋品店と協力しての衣料品の移動販売が活況を呈している。年に2回(6月、12月)の開催であるが、併設特養やデイサービスの利用者も加わり、レジの前には行列ができるほどの賑わいである。 複合施設全体の夏祭りには地域のボランティアが大勢参加し、太鼓の披露、舞台の手伝い、利用者の見守り等、大活躍であった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 毎奇数月に運営推進会議を開催しており、系列の「第二あま恵寿荘」との合同開催である。会場は、「あま恵寿荘」と「第二あま恵寿荘」とを交互に入れ替えて開催し、利用者の参加が公平になるよう配慮している。 ホームからの状況報告の後、活発な質疑応答、意見交換が行われている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 毎回、運営推進会議には市の担当者地域包括支援センターの職員が出席し、情報提供や助言、質問等をしている。 法改正や制度変更に関する疑問点は、何時でも市に相談できる態勢にある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ホームページにグループホームのブログを載せるようになったことで、家族のホーム運営に関する関心が高まっている。 運営推進会議に参加した家族からは、グループホームの活動や取り組みの多彩さについて驚きの言葉が出ている。 着実に、ホームの真の状況が家族に理解され、浸透してきている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎